

STIEBEL ELTRON

蓄熱式電気暖房器

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

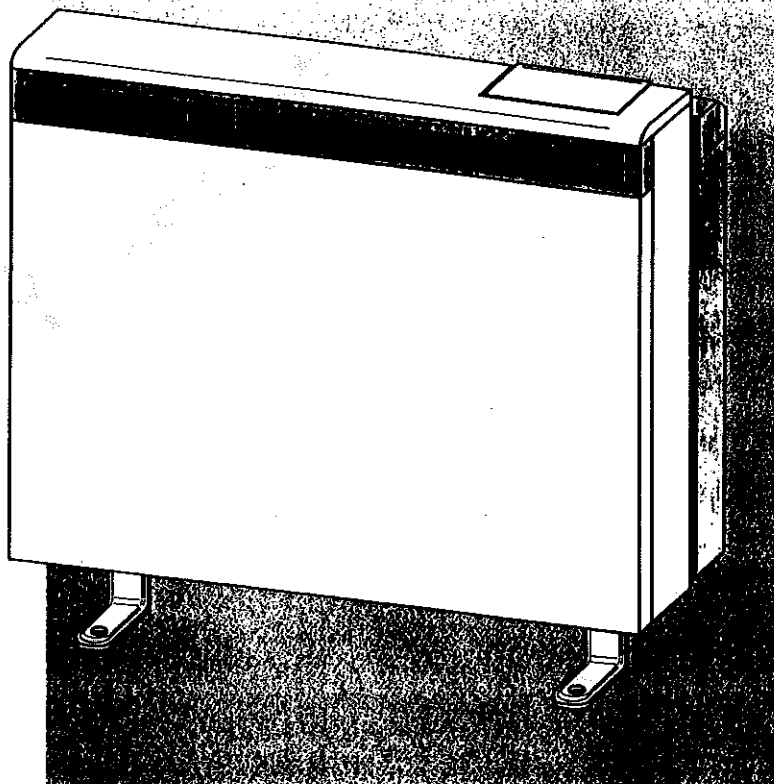
HOLSシリーズ

型 名…………●HVS-75S
●HVS-150S
●HVS-220S
●HVS-300S

品 名…………スタティック
HVSシリーズ

この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は大切に保管し、わからない時は読みかえてください。

取扱説明書は9頁～16頁、又保証書は17頁にあります。



●本製品を安全にご使用していただくために、取扱説明書本文にでてくる警告表示の部分は、製品を使用する前に注意深く読み良く理解してください。

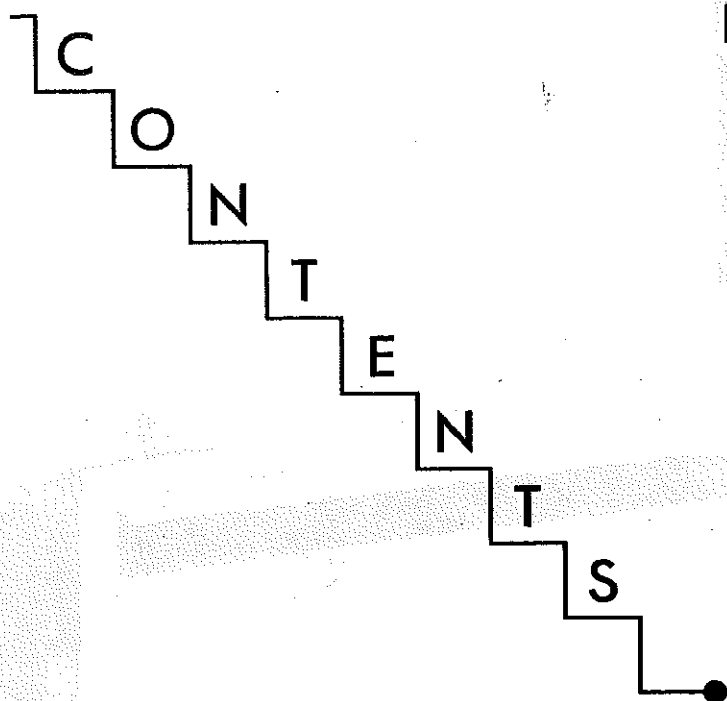
表示の内容は誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、及び重大な物的損害の発生が予想される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性、及び物的損害の発生が予想されます。



[目 次]

●取扱説明書

- ・ 特長 1
- ・ 各部の名称 1
- ・ 注意していただきたいこと 2
- ・ 操作部のはたらき 3
- ・ 運転のしかた 3
- ・ 日常の点検とお手入れ 5
- ・ 故障かな?と思ったら 5
- ・ 点検および修理について 7
- ・ 仕様 8

●取付説明書

- ・ 各部の名称 10
- ・ 部品の確認 10
- ・ 標準仕様 10
- ・ 取付前の注意 10
- ・ 標準施工図 12
- ・ 本体パネル等の取り外し 13
- ・ 蓄熱体の組み込みと電気ヒーターの取付け 14
- ・ 結線を行ってください 15
- ・ 前面パネル等の取付け 15
- ・ 試運転 16
- ・ 保証書 17

特長

●スタティックHVS-Sシリーズには次の機能があります。

蓄熱量調節機能 蓄熱サーモダイヤルにより、蓄熱量を自動調節（手動設定）します。

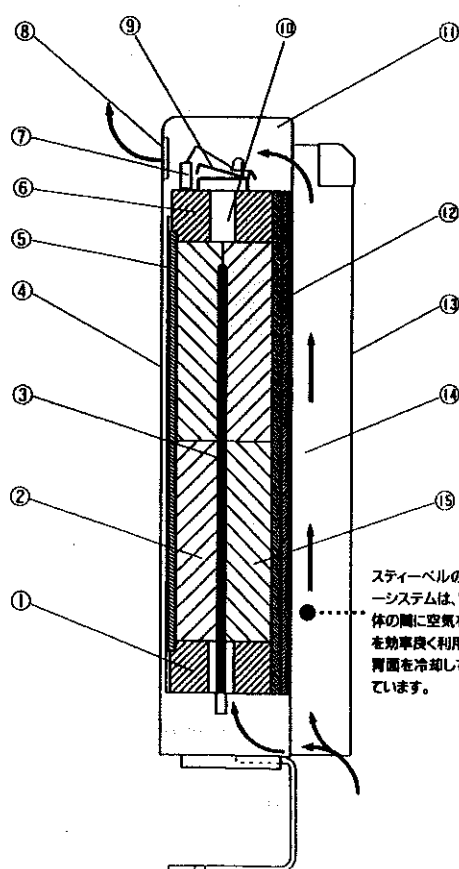
室温調節機能 放熱設定ダイヤルにより、放熱量を内蔵バイメタルダンパーが自動調節（手動設定）します。

スタティックHVS-Sシリーズは自然対流を主体とした放熱を行う蓄熱暖房器でファンが装着されておられません。このため、送風機の騒音発生はありませんが放熱量の制御幅がファンを有するダイナミックタイプに比べ小さくなっています。

したがって、急に暖かくしたり、一時的に放熱を停止させたりする使い方には向いていません。常に一定の放熱を必要とするお部屋、廊下等の暖房や配管の凍結防止等の目的に大変優れた効果を発揮します。

各部の名称

■HVS-S構造図



注意していただきたいこと

正常に機能が發揮できるよう、ご使用前に次の確認を行ってください。

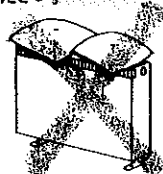
⚠ 警告 ご使用にあたり、下記の項目を満たしていない設置がなされていた場合は使用しないですみやかに設計、設置者に御相談ください。誤って使用すると、火災ややけどのおそれがあります。

1. 水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください（故障、事故の原因になります）。
2. 転倒防止金具が正しく取付けられ、本体がしっかりと固定されていることを確かめてください。（正しく取り付けられないと転倒のおそれがあります）。
3. 万一の感電防止のために、（1）アース工事、（2）漏電遮断器設置工事、が行われていることを確かめてください。
4. 対流する上昇気流によるほこり等によって壁面が変色する場合があります。壁紙などは、で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。

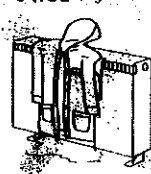
⚠ 警告 安全のために次のことは必ずご使用の際お守りください。守らなかった場合火災ややけどのおそれがあります。

蓄熱式電気暖房器は、安全性には十分考慮して設計されていますが、より安全で快適にご使用いただくために、右記の点にご注意ください。

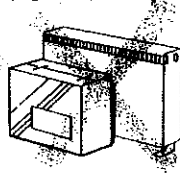
上部(天板)に物を置かないでください。



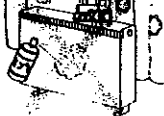
衣類等を本体にかけて乾かさないでください。



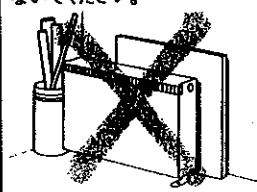
前面に物を置いて吹出口をふさがないでください。



塗料、シンナー等、引火性の物を近づけないでください。また、おもちゃ、カーテン等、燃えやすい物をそばで使わないでください。



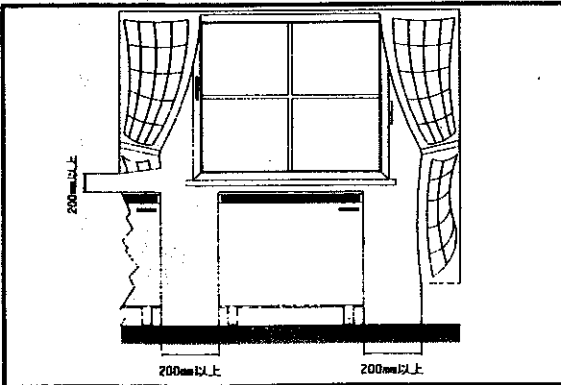
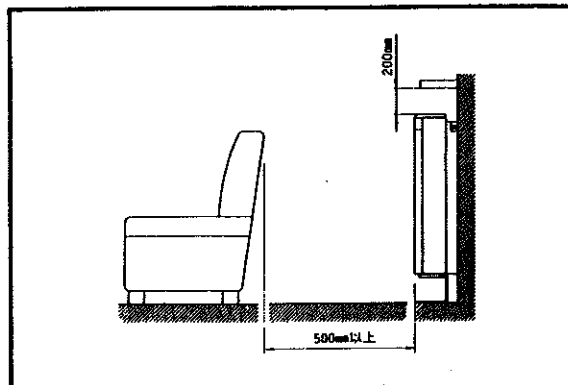
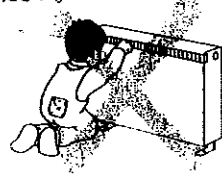
本体と壁のすき間に物を入れないでください。



吹出口に座布団や寝床を近づけないでください。



吹出口を手でさわらないでください。



●蓄熱式電気暖房器は、優れた快適性と安全性のために電気ストーブであることが忘れられ、その安全性が過信される場合があります。暖房器の前でのお子様の悪ふざけや、乾燥機代わりに布団等をかけることは、けがや火災の原因となりますので絶対におやめください。

操作部のはたらき

左側ダイヤル

放熱調節ダイヤル

放熱量を調節します

1～6迄の数字が表示されています。

通常3～4でご使用ください。夕方等放熱量を大きくしたい時は6、又、外出等で放熱量を小さくしたい時は1でご使用ください。

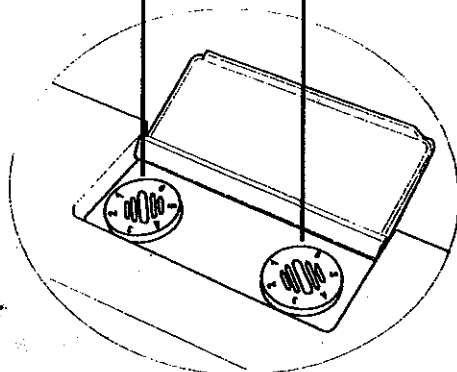
右側ダイヤル

蓄熱量ダイヤル

蓄熱量を調節します

1～6迄の数字が表示されています。

ダイヤル3で約30%蓄熱
ダイヤル5で約70%蓄熱
ダイヤル6で100%蓄熱



HVS-75Sは放熱量及び蓄熱量ダイヤルは付いていません。

運転のしかた

1

はじめて使用する時

電源ブレーカを「入」にしてください。

暖房を使用する前に

(イ) 放熱ダイヤルを「1」としてください。(HVS-75Sを除く)

(ロ) 蓄熱量ダイヤルを「3」にセットしてください。(HVS-75Sを除く)

これで蓄熱準備完了です。

【ご注意】使用のはじめや、長期間停止した後は蓄熱量ダイヤルを

初日 : ダイヤル「3」

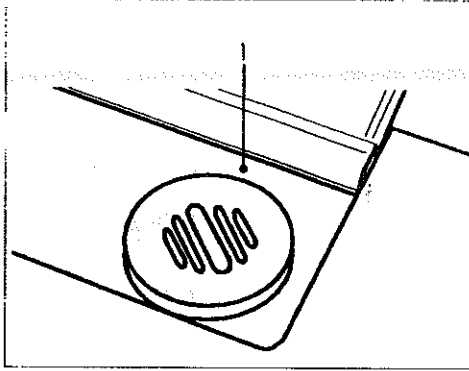
2日目 : ダイヤル「5」

3日目 : ダイヤル「6」

にセットしてください(最初からダイヤル「6」にしないでください。これは内部の湿気等を徐々に追いつくためのものです)

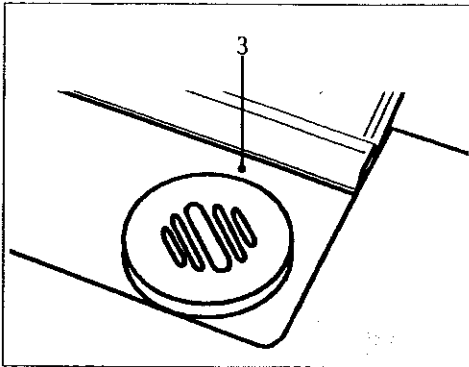
注意 HVS-75Sの場合通電初日から最高温度に設定されています。(蓄熱温度の可変はできません)

蓄熱量ダイヤルの操作(HVS-75SJは除く。)

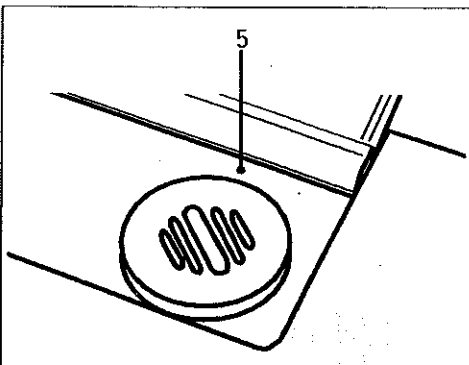


蓄熱式暖房器をご使用にならない時『1』にセットしてください。蓄熱停止となります。(但し、ブレーカが『入』の場合、本体内部が30℃以下となると凍結等を防止するためヒータがONとなります)
なお、短期間の外出の場合や、お部屋の凍結を防止する場合は、ダイヤル『2』～『3』とされることを勧めします。

〔ご注意〕電源投入時ダイヤル『1』でも通電される場合があります。

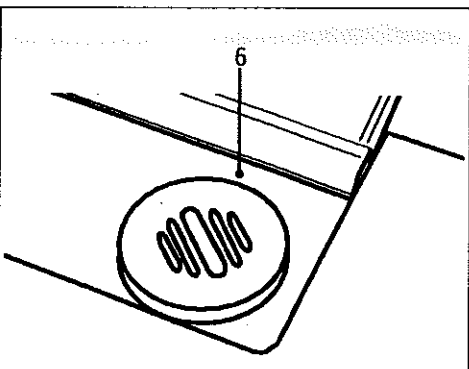


春や秋等、朝晩の暖房だけが必要とされる時期にはダイヤル『3』にセットしてご使用ください。
暖房時は放熱ダイヤルを『4』～『6』としてください。



初冬や早春の候、日中の弱い暖房が望まれる時に
ご使用ください。弱い自然放熱が日中の室温低下を防ぎます。

暖房時は放熱ダイヤルを『5』にしてお部屋を暖房してください。



厳寒期の候、前日にダイヤルを『6』にセットしてご使用ください。

朝、最大蓄熱となり輻射と自然放熱が得られます。
正しく選定された機種の場合、一日中室温を快適な温度に保ちます。

蓄熱量ダイヤルは、低めにセットされると経済的です。しかし、外気温が大きく変動したりすると蓄熱量不足となる場合がありますのでご注意ください。

このダイヤルは『1』～『6』までの間、連続してセットできます。

HVS-75SJの蓄熱量を変更したい場合は別売プログラムタイマー(外付け)を御使用下さい。

放熱調節ダイヤルの使い方(HVS-75Sを除く。)

コントロールパネル内左側(本体正面より見て)のダイヤルが放熱調節ダイヤルです。ダイヤルは右に廻すと設定温度が高くなります。

対流放熱量はダイヤルのセット「1」～「6」で決まります。寒い場合はダイヤルセットを高くしてご使用ください。

注) ダイヤルは放熱量の調節器でルームサーモスタットではありません。

室温設定に関するお願い

- 本体前面50cm以内に物を置いたり、上部を覆ったりしますと暖房器自身の熱の影響を強く受け、室温が低いのに放熱のダンパーが作動しない場合が生じます。安全のためにも本体の前には物を置かないようお願いします。
- 室温の設定は、お部屋の状況により変わります。一般に「3」～「5」で使用します。「6」にしないとお部屋が暖まらない場合は、お部屋に対してご使用の暖房器が小さく、午後や夕方に蓄熱が不足することがあります。
このダイヤルは、「1」～「6」までの間、連続してセットできます。

HVS-75Sの調節

HVS-75Sは蓄熱調節ダイヤル、放熱調節ダイヤルがありません。放熱量は蓄熱量によって決まります。蓄熱量を調節される場合は別売プログラムタイマー(外付け)を御使用ください。蓄熱を停止したい場合は手動offスイッチ(外付け)を本体の近くに設けてください。手動offスイッチを設けない場合は配電ブレーカによってoffする事になります。(ブレーカの操作は電気工事店に御確認ください。)

日常の点検とお手入れ

本体のお手入れ

- 通常は乾いた布で拭いてください。
汚れがひどい時は、適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- 水を絶対にかけないでください。
- シーズンイン、シーズンオフ時には本体および周囲のほこりや異物を真空掃除機で除いてください。
[ご注意] ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、本体を傷めますので絶対にやめてください。

定期点検のお勧め(有料)

安心して末長く快適にご使用いただくため、お買い上げより3年経過した場合は、定期点検をお勧めいたします。なお、点検はお取付店、販売店または当社までご依頼ください。

こんな時は…

- 長期間使用しない場合は、ブレーカを切ってください。
- 凍結防止として使用する場合は、蓄熱ダイヤルを「1～2」、放熱ダイヤル「1～2」として使用されることをお勧めします。吹出口の近くに異物のないことを十分確かめたうえで放熱ダイヤルを最低値の設定としてください。

故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置方法
本体が暖まらない	電源ブレーカが入っていますか? 蓄熱量ダイヤルがセットされていますか? 時間常別電灯用タイマーが正しくセットされていますか?	電源ブレーカを入れてください。(はじめて使用する時は、電気工事店にご相談ください。) 蓄熱量ダイヤルの操作(P.3~P.5)をもう一度お読みのうえ蓄熱量ダイヤルを「1」以上にセットしてください。 時間常別電灯契約の場合、タイマーの設定はユーザーが行います。タイマーの取扱説明書にしたがって設定してください。不明の場合は取付店にご相談ください。
本体は暖かいが部屋は暖まらない	放熱ダイヤルが「3~5」になっていますか? 放熱ダイヤルの設定が低すぎませんか? ドアや扉、窓等が開放となっていないですか?	放熱ダイヤルを「3~5」としてください。放熱調節ダイヤルの使い方(P.3・P.5)をお読みください。 放熱ダイヤルを「4~5」以上にセットしてください。放熱調節ダイヤルの使い方(P.3・P.5)をお読みください。 ドアや扉、窓等を閉めてご使用ください。
出口から暖かい気流が出てこない	放熱ダイヤルの設定が低くありませんか? 蓄熱が不足していませんか? 空気取入口が詰まっていますか?	放熱ダイヤルを「4~5」以上にセットしてください。放熱調節ダイヤルの使い方(P.5)をお読みください。 暖かい気流が全く出ない場合は蓄熱が不足しています。「運転のしかた」(P.4)をよく読み、蓄熱量ダイヤルを調節してください。 「日常の点検とお手入れ」(P.5)をよく読み、本体の清掃を行ってください。
本体が熱すぎる	蓄熱量ダイヤルが高すぎませんか? 本体にカバーがかかっていますか? 空気取入口が詰まっていますか?	蓄熱量ダイヤルの操作(P.4)をよく読み、蓄熱量ダイヤルを下げてください。 出口空気がショート・サーキット(入り口にもどる)して吹出温度が高くなっています。カバーや異物を除いてください。 吹出口の温風が高すぎます。空気取入口を清掃して異物を除いてください。
吹出空気が臭う	長時間停止していませんか? 空気取入口が詰まっていますか?	長期間停止すると、ほこりや湿気で多少臭いがすることがあります。 空気取入口が目詰まりすると本体に入ったほこりが異臭を出す場合があります。

次の場合故障ではありません

現象	理由
夕方（午後）になると 吹出空気が温くない。	深夜放熱ダイヤルが「6」となっていた場合。 蓄熱サーモダイヤルが低すぎた場合。 部屋の大きさに比べて本体が小さい場合（機種選定表 を参照してください）
本体からときどき「カチッ」と音がする。	サーモスタットが作動している音です。
朝、本体が温くない。	放熱ダイヤルが「6」となっていた場合。 蓄熱サーモダイヤルが低すぎた場合。

点検および修理について

アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

- アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、それでも不都合があったり、あるいは不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、取付工事店または当社支店、営業所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの時は、次のことをお知らせください。
 1. 型式名
 2. 不具合のようす（例えば、放熱ダイヤルが動かない等）
 3. 取付年月日（保証書をご覧ください）
 4. お名前、住所、電話番号
 5. お宅までの道順

補修用性能部品の最低保有期間について

- この器具の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するための部品です。

保証について

- 本製品は、お取付日から1ヵ年保証です。
- 保証書は、販売店または取付工事店からお渡ししますので、必ず「販売店名か取付工事店名、取付日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。
- 修理を依頼される時、保証書に記載のある販売店、取付工事店または当社支店、営業所にご連絡ください。保証期間であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理いたします。

仕様

機種	HVS-75S	HVS-150S	HVS-220S	HVS-300S
電圧	200V	200V	200V	200V
周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
消費電力	0.73kW	1.46kW	2.19kW	2.92kW
有効蓄熱量	5.25kW	10.5kW	15.4kW	21kW
幅 mm	335	562	790	1018
高さ mm	700	700	700	700
奥行 mm	215	215	215	215
総重量	40.5kg	76kg	111kg	145.5kg
蓄熱体重量	29kg	58kg	88kg	116.5kg
放熱能力	0.2~0.4kW	0.25~0.7kW	0.44~1.02kW	0.56~1.45kW
蓄熱体数量	4	8	12	16
蓄熱体梱包数	2	4	6	8
蓄熱体品番	164167	164167	164167	164167
ヒータ	高耐熱ステンレスヒータ電力密度 3 W/cm以下			
蓄熱体	酸化鉄			
蓄熱体サーモ	バイメタル式			
放熱ダンパー	バイメタル式			
本体過熱防止器	主回路遮断バイメタル式			
製品番号	074003	074004	074005	074006

- 本品は、自然環境を考慮、全てリサイクルが可能な素材を使用しているDIN7728に基づくリサイクルマーク表示許可製品です。
- 全ての紙製品は、塩素を含まない再生紙を使用しております。したがって再々使用が可能です。
- メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話()

STIEBEL ELTRON

蓄熱式電気暖房器

取付説明書

(保証書付)

HOLSシリーズ

型 名……………●HVS-75S

●HVS-150S

●HVS-220S

●HVS-300S

品 名……………スタティック

HVS-Sシリーズ

取付工事店様へ

- この機器を正しく安全にご使用いただくため、この取付説明書とともに取扱説明書をよくお読みのうえ、取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。
- 保証書に貴店名および取付日等の必要事項を必ず記入してください。
- 工事終了後は取扱説明書(保証書付き)を必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、本体天板に袋ごとはりつけておいてください。

各部の名称

P.1の図を参照してください。

部品の確認

次の部品があることを確かめてください。

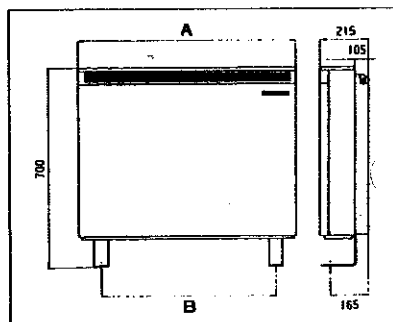
1. HVS-S本体
2. 取扱説明書、取付説明書一冊
3. 壁面固定金具1セット
4. 蓄熱体

お願い 運送中に生じた製品の破損は当社の保証外となりますので、運送中に生じた製品の破損については、すみやかに運送業者に申請してください。

型式	HVS-75S	HVS-150S	HVS-220S	HVS-300S
蓄熱体の数	4	8	12	16
梱包の数	2	4	6	8

標準仕様

型式	HVS-75S	HVS-150S	HVS-220S	HVS-300S
電源	200V、1φ、50/60Hz			
ヒータ容量	0.73kW	1.46kW	2.19kW	2.92kW
ヒータ電流 (ブレーカ容量)	3.7A (15A)	7.3A (15A)	11A (15A)	14.6A (20A)
ヒータケーブル	1.6φ又は2SQ	1.6φ又は2SQ	1.6φ又は2SQ	2φ又は3.5SQ
寸法	A	335	562	790
	B	140	368	529



取付前の注意

⚠ 警告 安全に使用していただくために下記の点を守って設置してください。(守らない場合、火災や感電等のおそれがあります。)

1. ⚠ 警告 電気製品ですので、水がかかったり表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。(事故や感電のおそれがあります。)
2. ⚠ 警告 電源および消費電力、電流を銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。(ショート、火災のおそれがあります。)

3.  **警告** アースは、第3種接地工事を行ってください。漏電ブレーカを設置してください。(感電のおそれがあります。)
4. メンテナンススペースをとってください。
5. 配線は最少の長さにして、周囲であそびをとらないでください。
6.  **注意** 本体は必ず固定してください。設置場所の選定にあたっては背面固定や床面固定のできる所を選んでください。
7. 暖房能力表によって、部屋の大きさに対して機種種の選定が適当であることを再度確認してください。機種種の選定を誤ると、暖房器として機能しないことがあります(暖まりません)。

●機種ごとの暖房能力の目安

機種	最小放熱／暖房能力		最大放熱／暖房能力	
	W/H	kcal/H	W/H	kcal/H
HVS-75S	0.2	172	0.4	344
HVS-150S	0.25	215	0.7	602
HVS-220S	0.44	378	1.02	877
HVS-300S	0.56	482	1.45	1247

- お願い 8. 本体は必ずしっかりした床のうえに必ず水平に設置してください。畳のうえや不安定な台のうえに設置するのはおやめください。
9. 毛足の長いじゅうたんや畳のうえに設置する場合は木台のうえに本体を置き、木台を床面に固定したうえ、必ず木台と本体、本体と壁面とをしっかりと固定してください。

 **警告** 以下の離隔は必ず守ってください、可燃物との離隔をとってください。(火災のおそれがあります。)

設置		可燃物	不燃物	備考
本体前面		500mm以上	500mm以上	暖房できない
背面		——	——	標準付属金具を必ず使用
左側面		100mm以上	100mm以上	
右側面		100mm以上	100mm以上	
上部カバー迄		200mm以上	200mm以上	ダイヤル操作
カーテン等全ての繊維		200mm以上	200mm以上	変色を防ぐ
他ちくだんとの間隔		100mm以上	100mm以上	メンテナンススペース
収納設置	上面	200mm以上	200mm以上	上部及び背面に不燃ボード(10mm以上)を使用してください。
	左側面	100mm以上	100mm以上	
	右側面	100mm以上	100mm以上	
	背面	——	——	標準付属金具を必ず使用

10. 対流する上昇気流によるほこり等によって、壁面が変色する場合があります。壁紙などは変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。

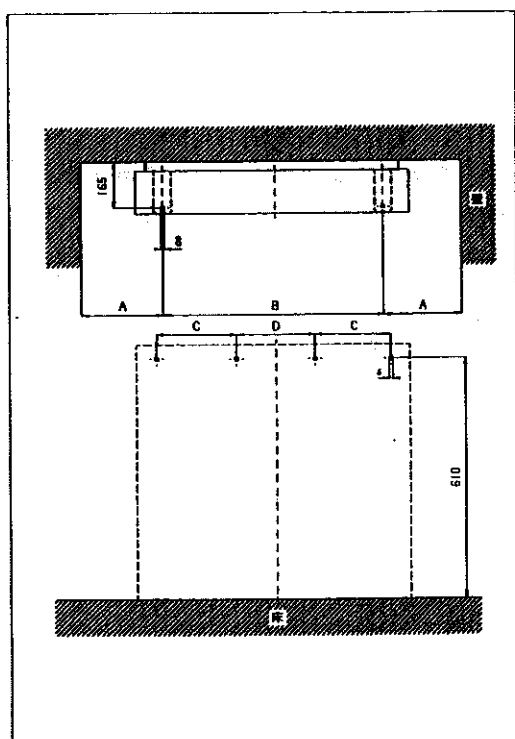
標準施工図

1. 電気配線

- 電気配線は、本体背面であそびがないように施工してください。
- リード線引き込み位置から本体内部でのケーブル長は1m以上の余裕をもって引き出しておいてください。余裕がないと施工が困難な場合があります。(ケーブルは端子台接続時に短くして「あそび」を無くしてください)

2. 壁面固定金具の取付け

- 壁面へはM5以上の木ネジを使用して固定してください。
- 震度5以上の地震に耐えるには、壁面取付金具の穴すべてを固定する必要があります。背面、は本体底部より610mmの高さにしっかりとした木材または1.6mm以上の厚さの鉄板で補強を入れてください。



型式	A(mm)	B(mm)
HVS-75S	200以上	140
HVS-150S	200以上	368
HVS-220S	230以上	529
HVS-300S	360以上	503

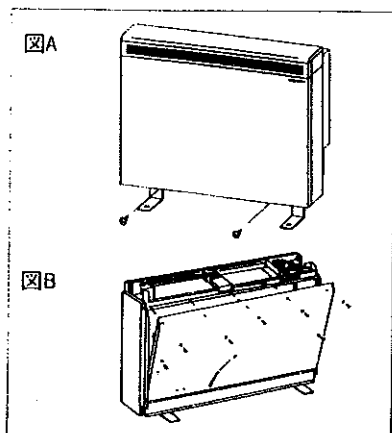
型式	C(mm)	D(mm)
HVS-75S	228	—
HVS-150S	228	228
HVS-220S	228	228
HVS-300S	228	228

3. 床固定

- 6mmの木ネジまたはホールアンカーを用いて固定してください(ホールアンカーは床面より20mm以上出さないでください。)
- 収納設置でホールアンカーを打つ場合は上部の余裕を十分にとってください。

蓄熱体を組み込む前に1. リード線の壁面からの取り出しおよび2. 本体の固定を完了させておいてください。

本体パネル等の取り外し



(イ) 蓄熱および放熱ダイヤルノブを外し前面パネル底部及び上部bのネジを外してください。ノブ、ネジが外されている事を確かめてから前面パネルを持ち上げるようにして外してください。

(注) 前面パネルと断熱材付スチール板との間には、発泡スチロールの梱包材が入っています。必ず取り除いてください。

(ロ) 断熱材付スチール板を図Bの通り、ネジを外し引き抜きます。

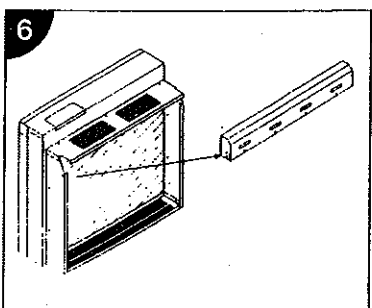
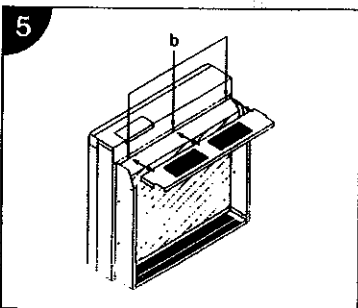
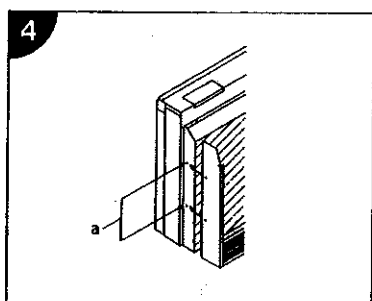
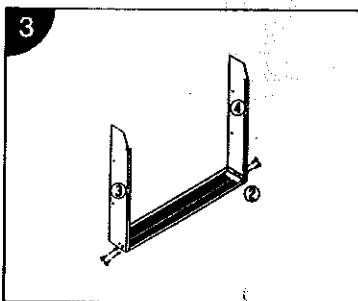
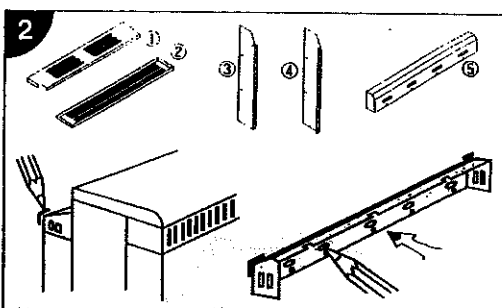
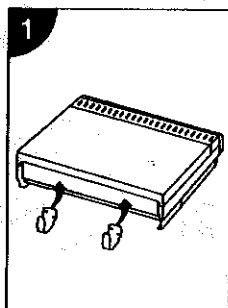
(ハ) 中に入っているヒータエレメントおよび梱包材を取り出します。

蓄熱式電気暖房器 HVS-Sシリーズ

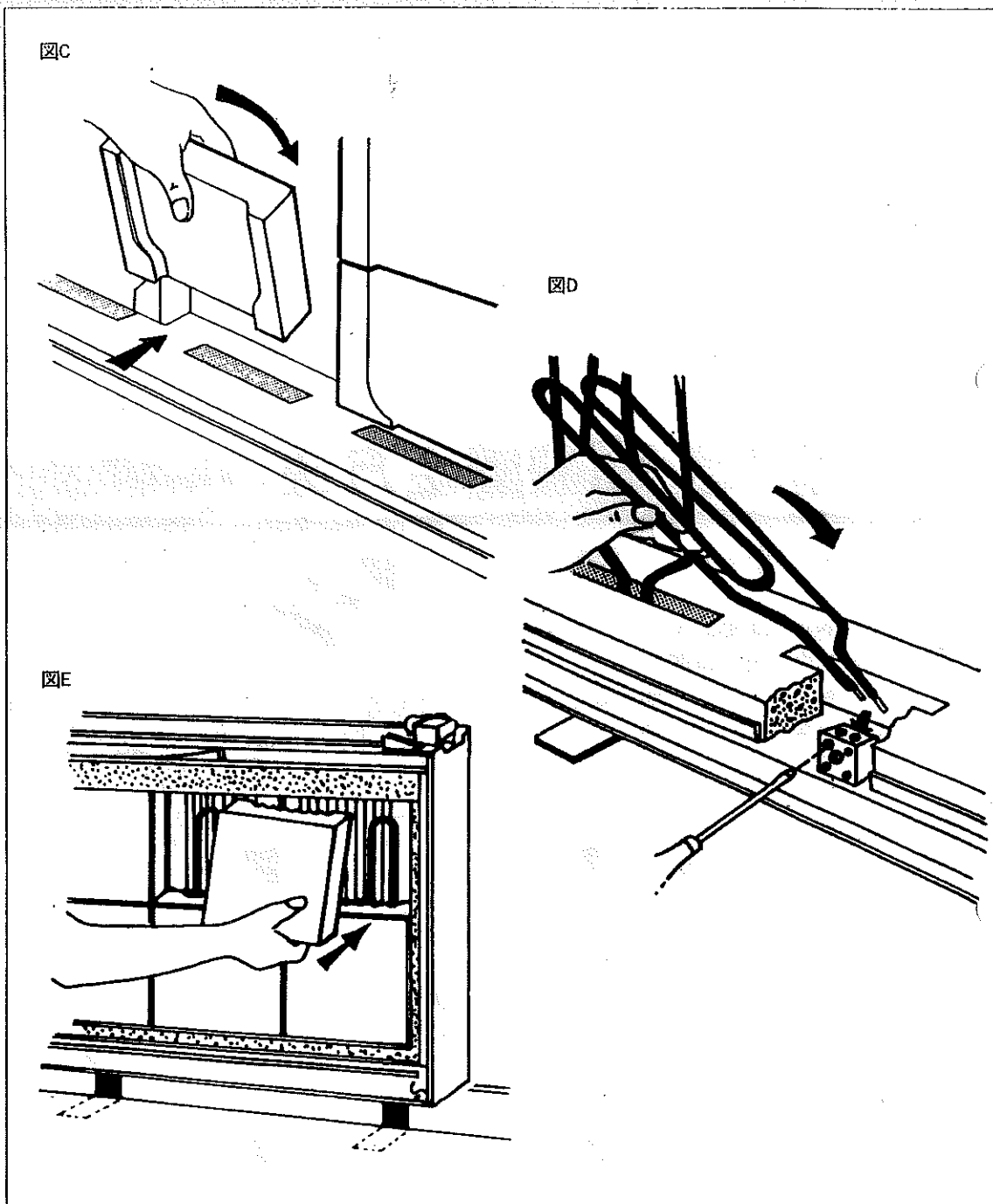
背面固定方法

固定金具(上部裏固定用金具:1点、
左右裏固定用金具:各1点)

1. 本体に脚を付けます。
2. 本体を取付け位置に寄せ背面金具⑤の固定位置を決めた後、本体から背面金具⑤を取り外し壁に取付けます。
3. 背面金具②③④を組み合わせネジで4ヶ所固定します。
4. 組み立てた②③④を本体に付けます。その際、aのネジをいったん外し、組み立てた②③④とともに再びネジで固定します。
5. bのネジをいったん外し①とともに再びネジで固定します。
6. 壁に付けておいた背面金具⑤に本体を寄せてネジで固定します。



蓄熱体の組み込みと電気ヒーターの取付け



(イ) 図Cの通り蓄熱体の溝にヒーターエレメントが納まるように背面側に蓄熱体を組み込みます。

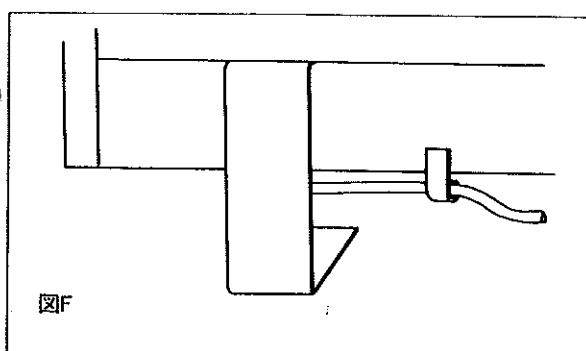
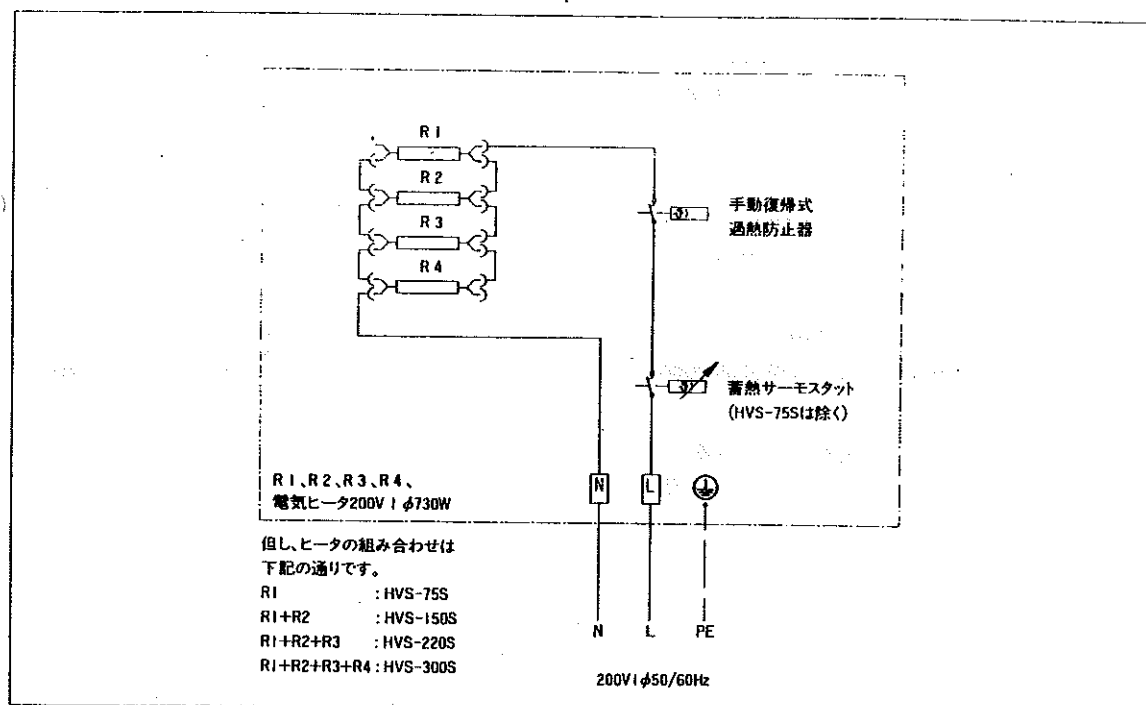
(ロ) 図Dに示す通り、ヒーターエレメントを端子台に差し込み、端子を締め込みます。

(注) 締め付けがわるい場合、故障の原因となることがありますので確実に締め付けてください。

(ハ) 背面側に蓄熱体を組み込んだ要領で、前面側にも組み込みます。(図E参照)

結線を行ってください

- (イ) 本体底部ケーブル引き込み穴よりケーブルを引き込みます。
 - (ロ) N-L 間に電源200V50/60Hzを接続してください。
 - (ハ) ケーブル引き込み穴と一体になっているクランプでケーブルを固定します。
- (注) 電源の締め込みおよびクランプでの固定は必ず確実に行ってください。
またケーブルは図Fに示す通り背面のリングを通してください。



※HVS-75Sの場合

HVS-75Sは手動設定のサーモが内蔵されておりません。運転の入切は電源ブレーカ又は同等のスイッチによってください。

HVS-75Sの蓄熱量制御は別売のプログラムタイマー（外付け）によってください。

前面パネル等の取付け

- (イ) 断熱材付スチール板を下部断熱ブロックと下部ケーシングの間を差し込み上部ネジで固定してください。
- (ロ) 前面パネルを上からかぶせるように取り付けます。
- (ハ) 蓄熱および放熱ダイヤルノブを差し込みます。

試運転

お引き渡し前に試運転を行ってください。

- (イ) 蓄熱サーモダイヤルをONさせて、所定の電流が流れることを確かめてください。
- (ロ) 放熱ダイヤルを回転させて、ダンパーが作動することを確かめてください。
- (ハ) 蓄熱、放熱が正常であることを確かめた後、蓄熱サーモのダイヤルを1以上としてください。放熱ダイヤルはくとしておいてください。
- (ニ) 時間帯別契約の場合は、プログラムタイマーの設定がなされていなければなりません。プログラムタイマーの取扱説明書にしたがって、設定を行ってください。プログラムタイマーの設定が終わったら手動運転にして蓄熱のタイマー制御が正しく行われていることを電流計で確かめてください。この後、必ずタイマーは自動運転に戻しておいてください。
- (ホ) 電気用品取締法に基づく技術基準により、本機の絶縁抵抗は1MΩ以上とされております。使用開始時や長期間放置されたあと再使用する場合に、蓄熱体が給湿したことにより、体内部に結露が生じ、絶縁抵抗が減少(0.2MΩ以下)し、運転開始後数時間でブレーカが誤動作する場合があります。このような場合は、結線に誤りがなくかつ、絶縁抵抗が回復していることを確認の上(充分乾燥させてください)再度通電を行ってください。ブレーカが即時に作動する場合は結線の誤りですから結線図にしたがって再度正しい結線を行ってください。

[注意] HVS-75Sは蓄熱量、放熱量ダイヤルはありません。

通電当初蓄熱ダイヤル<(最小)>で電流が流れる(オフしない)ことがあります。

MEMO

・保証書・

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から1年以内に故障が発生した場合は本書をご提示の上、販売店、工事店または当社に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前	様
お取付店名	〒	電話()
	印	扱 者 印
お取付日	年	月 日

品 番	H V S -75S	
	H V S -150S	
	H V S -220S	
	H V S -300S	
保証期間	本 体	お取付日から1ヶ年

★お客様へ

この保証書をお受けとりになるときは、お取付年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、販売店、工事店、または当社にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
- ご転居等、取付場所を移動する場合は予め取付店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取付後の移設及び取付説明書に基づいた取付がなされてなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。
 - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外（例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取付店名、お取付日の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

サービス記録

年 月 日	サービス内容	担 当 者

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町2-9-3 荏原ビル3F ☎03-3436-4649

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

本社

〒105-0013 東京都港区浜松町2-9-3 エバラビル3F TEL. (03)3436-4649 FAX. (03)3459-4365

北海道支社

〒003-0026 札幌市白石区本通1丁目南1-13 雄建ビル3F TEL. (011)865-4649 FAX. (011)865-2030

東北支社

〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-55 藤野屋ビル2F TEL. (022)718-4649 FAX. (022)276-5974

■製造者

スティーベル・エルトロン(ドイツ)

■販売総代理店

HOLS 株式会社 ほくてんライフシステム

本 社 ●060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地 住友商事 札幌ビル ☎(011)207-6555

マ ド レ ●060-0031 札幌市中央区北1条東4丁目 サッポロファクトリー 一乗館南 ☎(011)242-0141

●お問い合わせは下記へどうぞ

札幌支社 ●060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地 住友商事 札幌ビル7階 ☎(011)207-6555

ディバタウン ●064-0808 札幌市中央区南8条西22丁目4番地 ☎(011)552-1447

旭川営業所 ●070-0034 旭川市4条通12丁目1444-1 北海道電力㈱旭川支店内 ☎(0166)26-5728

北見営業所 ●090-0028 北見市北8条東1丁目2-1 北海道電力㈱北見支店内 ☎(0157)22-3596

岩見沢営業所 ●068-0029 岩見沢市9条西1丁目12-1 北海道電力㈱岩見沢支店内 ☎(0126)24-7602

小樽営業所 ●047-0033 小樽市富岡1丁目9-1 北海道電力㈱小樽支店内 ☎(0134)27-7200

釧路営業所 ●085-0017 釧路市幸町8丁目1 北海道電力㈱釧路支店内 ☎(0154)24-5590

帯広営業所 ●080-0015 帯広市西5条南7丁目2-1 北海道電力㈱帯広支店内 ☎(0155)26-0943

室蘭営業所 ●050-0082 室蘭市舟町1丁目6-25 北海道電力㈱室蘭支店内 ☎(0143)43-8633

苫小牧営業所 ●053-0006 苫小牧市新中野町3丁目8-7 北海道電力㈱苫小牧支店内 ☎(0144)32-8067

函館営業所 ●040-0033 函館市千歳町25-15 北海道電力㈱函館支店内 ☎(0138)22-5741